

## 枚方市ペット霊園の設置等に関する規制（案）

## 1. 目的

ペット霊園の設置及び管理並びに移動火葬車による火葬が公衆衛生その他公共の福祉の見地から支障なく行われるための必要な事項を定めることにより、地域の良好な生活環境の保全及び利用者の保護に資することを目的とする。

## 2. 定義

次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) ペット 愛玩することを目的として人に飼養される犬、猫その他の動物をいう。
- (2) 墳墓 ペットの焼骨を埋蔵する施設をいう。
- (3) 墓地 墳墓を設置するための区域をいう。
- (4) 納骨堂 ペットの焼骨を収蔵する構造物をいう。
- (5) 火葬 ペットの死体(廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和 45 年法律第 137 号)第 2 条第 1 項に規定する廃棄物に該当する物を除く。以下同じ。)を葬るために、これを焼くことをいう。
- (6) 火葬施設 火葬を行うための設備を有する施設（移動火葬車を除く。）をいう。
- (7) ペット霊園 火葬施設、墓地若しくは納骨堂又はこれらを併せ有するものをいう。  
ただし、専ら自己の利用に供する目的で設置するものを除く。
- (8) 移動火葬車 火葬を行うための設備を有する自動車（道路交通法（昭和 35 年法律第 105 号）第 2 条第 1 項第 9 号に規定する自動車をいう。）をいう。

## 3. 設置者等の責務

- 1 ペット霊園を設置し、又は管理する者は、当該ペット霊園の設置又は管理にあたり、地域の良好な生活環境の保全のために必要な措置を講じるとともに、ペット霊園の利用者の心情に十分配慮しなければならない。
- 2 移動火葬車を使用して火葬を業として行う者は、当該火葬を行うにあたり、地域の良好な生活環境の保全のために必要な措置を講じるとともに、ペット霊園の利用者の心情に十分配慮しなければならない。

## 4. 埋葬の禁止

ペット霊園においては、ペットの死体を土中に葬ってはならない。

## 5. 設置等の許可

- 1 ペット霊園を設置しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。
- 2 市長から許可を受けた者は、許可を受けた墓地の拡大若しくは変更（単に縮小する場合

合を除く。)又は火葬施設の増設若しくは変更(軽微な変更を除く。以下「ペット霊園の変更」という。)をしようとするときは、市長の許可を受けなければならない。

- 3 市長は、ペット霊園の設置及び変更の許可をするにあたり、必要な条件を付することができる。

## 6. 事前協議

- 1 許可を受けてペット霊園を設置又は変更しようとする者(以下「申請予定者」という。)は、当該許可に係る申請をしようとする日(以下「申請予定日」という。)の3か月前までに、次の事項を記載した事前協議書を市長に提出しなければならない。
  - (1) 申請予定者の住所及び氏名(法人その他の団体にあつては、主たる事務所の所在地、その名称及び代表者の氏名)
  - (2) ペット霊園の所在地及び名称
  - (3) ペット霊園の区域の面積
  - (4) 設置する施設の種類及び数
- 2 事前協議書には、地図や工程表等の書類を添付しなければならない。

## 7. 標識の設置

- 1 事前協議書を提出した申請予定者は、申請予定日の2か月前までに、ペット霊園(ペット霊園の設置予定地を含む。)の区域内の見やすい場所に、当該許可に係るペット霊園の概要を記載した標識を設置しなければならない。
- 2 申請予定者は、標識を設置したときは、その旨を市長に届け出なければならない。
- 3 標識は、説明会を開催するまでの間、設置しておかなければならない。

## 8. 説明会の開催等

標識を設置した旨の届出をした申請予定者は、申請予定日の1か月前までに、当該許可に係るペット霊園の設置又はペット霊園の変更の計画について、計画の予定地から100メートル以内の建物の使用者、管理者等に対し説明会を開催するとともに、ペット霊園に隣接する土地の所有者又は使用者と協議しなければならない。

## 9. 許可の申請

- 1 ペット霊園の設置又は変更の許可を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、次の事項を記載した申請書を市長に提出しなければならない。
  - (1) 申請者の住所及び氏名(法人その他の団体にあつては、主たる事務所の所在地、その名称及び代表者の氏名)
  - (2) ペット霊園の所在地及び名称
  - (3) ペット霊園の区域の面積

(4) 設置する施設の種類及び数

2 申請書には、登記事項証明書、火葬施設の能力を示す書類等を添付しなければならない。

10. 許可の基準

市長は、ペット霊園の設置又は変更の許可の申請があった場合において、当該申請に係るペット霊園が設置場所及び構造設備の基準に適合していると認めるときでなければ、許可をしてはならない。

11. ペット霊園の設置場所の基準

ペット霊園の設置場所の基準は、次のとおりとする。

- (1) 火葬施設及び墓地が住宅（ペット霊園の設置又は変更の許可の申請後に建てられたものを除く。）から 100 メートル以上離れていること。ただし、公衆衛生その他公共の福祉の見地から支障がないと市長が認める場合は、この限りでない。
- (2) ペット霊園の土地については、申請者が当該土地を所有し、かつ、当該土地に所有権以外の権利が設定されていないものでなければならないこと。

12. ペット霊園の構造設備の基準

ペット霊園の構造設備の基準は、次のとおりとする。

- (1) 外部からペット霊園を見通すことができないようにするための密植した垣根又は障壁が設けられていること。
- (2) 墓地に雨水その他の地表水が停滞しないようにするための排水施設が設けられていること。
- (3) 管理事務所並びにペット霊園の規模に応じた便所、給水設備及びごみ集積設備（ペット霊園の付近にあるこれらのものを含む。）が設けられていること。
- (4) 火葬施設は、次の基準に適合するものであること。

ア 空気取入口及び煙突の先端以外に燃焼室内と外気とが接することなく、燃焼室において発生するガス（以下「燃焼ガス」という。）の温度が摂氏 800 度以上の状態で焼却できるものであること。

イ 燃焼に必要な量の空気の通風が行われるものであること。

ウ 燃焼室中の燃焼ガスの温度を測定するための装置が設けられていること。

エ 燃焼ガスの温度を保つために必要な助燃装置が設けられていること。

オ 防音、防臭及び防じんについて、十分な能力を有するものであること。

13. 工事の完了の検査等

- 1 ペット霊園の設置又は変更の許可を受けた者（以下「設置者」という。）は、当該許

可に係るペット霊園の工事が完了したときは、速やかにその旨を市長に届け出て、その検査を受けなければならない。

- 2 市長は、工事後の検査をした場合において、その工事が設置場所及び構造設備の基準に適合していると認めたときは、設置者に対し、検査済証を交付するものとする。
- 3 設置者は、検査済証の交付を受けた後でなければ、当該ペット霊園を使用してはならない。

#### 1 4. 維持管理

設置者は、構造設備の基準に従い、設置等許可に係るペット霊園を維持管理しなければならない。

#### 1 5. 設置者の遵守事項

設置者は、次の事項を遵守しなければならない。

- (1) ペットの死体及び遺骨を丁寧に扱うとともに、衛生的に管理すること。
- (2) 利用者に対して、あらかじめ、利用の条件、手続及び料金、ペットの死体及び遺骨の取扱いの方法その他の役務の提供に関する事項について説明すること。
- (3) 利用者ごとに書類を作成し、及び当該利用者がペット霊園の利用を終えるまでの間保管すること。

#### 1 6. 地位の承継

- 1 設置者からペット霊園を譲り受けた者は、当該設置者の地位を承継する。
- 2 設置者の地位を承継した者は、その承継があった日から30日以内にその旨を市長に届け出なければならない。

#### 1 7. 変更の届出

設置者は、軽微な変更をしたときは、変更した日から30日以内に、その旨を市長に届け出なければならない。

#### 1 8. 移動火葬車による火葬業の届出

市内で移動火葬車を使用して火葬を業として行おうとする者は、あらかじめ、次の事項を市長に届け出なければならない。

- (1) 当該事業者の住所及び氏名（法人その他の団体にあつては、主たる事務所の所在地、その名称及び代表者の氏名）
- (2) 使用する移動火葬車の自動車登録番号（道路運送車両法（昭和26年法律第185号）第9条に規定する自動車登録番号をいう。）又は車両番号（同法第60条第1項又は第97条の3第1項に規定する車両番号をいう。）

#### 19. 移動火葬車の使用の制限等

- 1 移動火葬車の使用に関する届出をした者（以下「移動火葬業者」という。）は、当該移動火葬車の火葬を行うための設備がペット霊園の火葬施設の基準に適合するものでなければ、これを使用してはならない。
- 2 移動火葬業者は、市内で火葬を行うときは、次の事項を遵守しなければならない。
  - (1) 移動火葬車に、移動火葬業者の氏名（法人その他の団体にあつては、その名称）、連絡先及び届出をしている旨を、容易に視認できるよう表示すること。
  - (2) 火葬を行う土地の所有者の同意を事前に得ること。
  - (3) 火葬を行う場所の周辺住民に事前に周知を行なうこと。
  - (4) 移動火葬業者が火葬終了までその場で待機し、火葬施設を適正に管理すること。
  - (5) ペットの死体及び遺骨を丁寧に取り扱うとともに、衛生的に管理すること。
  - (6) 利用者に対して、あらかじめ、利用の条件、手続及び料金、ペットの死体及び遺骨の取扱いの方法その他の役務の提供に関する事項について説明すること。

#### 20. 移動火葬業者の廃止等の届出

移動火葬業者は、市内で火葬を行わなくなったとき又は変更をしたときは、その日から30日以内に、その旨を市長に届け出なければならない。

#### 21. 廃止の手続等

- 1 ペット霊園を廃止（その一部の廃止又は墓地の区域の縮小を含む。）しようとする者は、あらかじめ、利用者にその旨を説明するとともに、廃止しようとする日の30日前までに、その旨を市長に届け出なければならない。
- 2 ペット霊園を廃止しようとする者は、当該墓地の墳墓又は納骨堂に存する焼骨を他の墳墓又は納骨堂に移すことその他利用者の心情に配慮した対応をとらなければならない。
- 3 ペット霊園を廃止したときは、原状回復その他の必要な措置を講じなければならない。

#### 22. 報告及び立入調査

- 1 市長は、この条例の施行に必要な限度において、設置者若しくは移動火葬業者に対し必要な事項の報告若しくは資料の提出を求め、又は職員にペット霊園若しくは移動火葬業者の事務所に立ち入り、必要な事項を調査させることができる。
- 2 立入調査を行う職員は、その身分を示す証明書を携帯し、関係者の請求があつたときは、これを提示しなければならない。
- 3 立入調査の権限は、犯罪捜査のために認められたものと解してはならない。

### 23. 改善勧告及び改善命令

- 1 市長は、設置者又は移動火葬業者が構造設備の基準、工事の完了検査、移動火葬車の使用の制限の規定に違反していると認めるときは、その者に対し、期限を定めて、その事態を改善するために必要な措置を講ずべきことを勧告することができる。
- 2 市長は、勧告を受けた者がその勧告に従わないときは、その者に対し、必要な措置を講ずることを命ずることができる。

### 24. 許可の取消し

市長は、次のいずれかに該当するときは、ペット霊園の設置又は変更の許可を取り消すことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段によりペット霊園の設置又は変更の許可を受けたとき。
- (2) 改善命令に違反したとき。

### 25. 禁止命令

市長は、次のいずれかに該当する者に対し、当該ペット霊園又は移動火葬車の使用の禁止を命ずることができる。

- (1) ペット霊園の設置の許可を受けずにペット霊園を設置した者
- (2) ペット霊園の変更の許可を受けずにペット霊園の変更をした者
- (3) 移動火葬車の使用に関する届出を行わずに市内で移動火葬車を使用して火葬を行った者

### 26. 公表

市長は、改善命令又禁止命令に従わない者があるときは、当該事実の公表を行うことができる。

### 27. 特例

墓地、埋葬等に関する法律第10条の規定により許可を受けて設置された人用の墓地の区域内において、人用の墓地と併せて墓地を設置するときは、この条例の規定は、適用しない。

### 28. 委任

この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。